

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・8月予測） ～消費分野で弱い動きが続く

2021年8月5日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

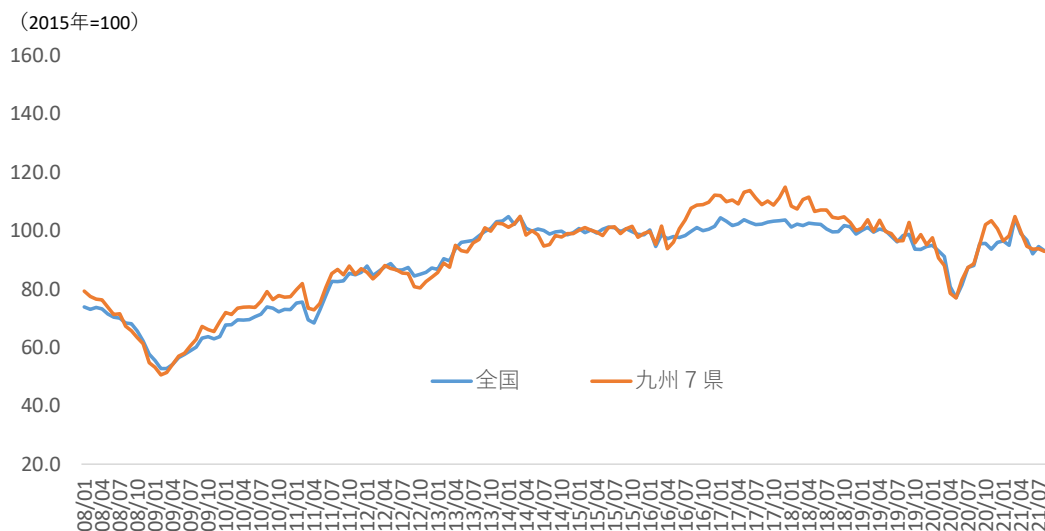
九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）ⁱを作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）ⁱⁱを DATASALAD にて公表している。本稿では、2021年7月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2021年8月の予測 CI を解説する。

2021年8月の九州7県の予測 CI：2カ月ぶりにマイナス

2021年8月における九州7県の予測 CI は前月比▲1.0%の92.9となり、2カ月ぶりにマイナスとなった。前月予測では7月値はマイナスだったが、生産分野の先行指標が改善しプラスとなった。一方、8月は生産分野の先行指標の回復幅が縮小し、さらに消費分野でも弱い動きが続いている。都道府県 CI は2021年2月以降プラスで推移していたが、4月より新型コロナウイルス感染再拡大の影響が表面化した。8月は、コロナ感染拡大が続くなかで消費分野の回復が見込めず、CI は前月を下回る見通しである。

全国は前月比▲1.4%の93.2となり、九州と同様に前月比マイナスとなった。全国でも生産分野はプラスとなる見通しである一方、消費分野が停滞している。

図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2021年5月までは実績値（都道府県 CI）、2021年6～8月は予測 CI

注2) 2021年8月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

2021年8月の九州地域の予測CI：生産のプラス寄与が縮小、消費分野も鈍い動き

2021年8月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、9県のうち6県でマイナスとなり、特に熊本県（前月比▲3.3%）、山口県（同▲1.6%）、沖縄県（同▲1.6%）でマイナス幅が大きかった。熊本県は消費分野、山口県は雇用分野のマイナス寄与が大きい。沖縄県は雇用、消費のいずれもマイナス寄与となっている。プラスとなった県でも回復幅は小さい。

8月は、生産分野の先行指標のひとつである製造業所定外労働時間に減少傾向がみられた。ここ数カ月は生産分野の回復がCIの上昇要因となっていたが、今後、生産分野の回復ペースが鈍化すれば、景気の回復がさらに遅れる可能性がある。

表1 都道府県CI、予測CI（全国、九州地域）

	指数（2015年=100）						前月比（%）					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2021年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	2021年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
全国	104.3	99.0	96.8	92.1	94.6	93.2	9.8	▲5.1	▲2.2	▲4.8	2.7	▲1.4
九州7県	104.9	99.7	94.7	93.7	93.9	92.9	6.7	▲5.0	▲5.0	▲1.1	0.2	▲1.0
山口県	86.4	85.6	85.3	82.5	82.8	81.5	10.6	▲0.9	▲0.4	▲3.3	0.4	▲1.6
福岡県	94.8	89.7	83.1	82.3	82.5	81.5	12.2	▲5.4	▲7.4	▲1.0	0.4	▲1.3
佐賀県	80.2	82.6	73.8	73.2	73.3	73.9	3.5	3.0	▲10.7	▲0.8	0.1	0.7
長崎県	92.2	92.1	88.9	86.0	87.7	87.6	9.9	▲0.1	▲3.5	▲3.2	2.0	▲0.1
熊本県	124.1	116.9	108.9	104.0	104.1	100.6	11.7	▲5.8	▲6.8	▲4.5	0.1	▲3.3
大分県	98.2	90.4	90.6	89.1	88.0	88.3	7.6	▲7.9	0.2	▲1.6	▲1.2	0.3
宮崎県	100.6	100.6	94.9	90.0	86.2	84.9	11.8	0.0	▲5.7	▲5.1	▲4.3	▲1.5
鹿児島県	109.7	101.3	100.2	100.3	96.9	97.1	11.3	▲7.7	▲1.1	0.1	▲3.4	0.1
沖縄県	85.0	73.5	66.5	60.6	63.8	62.8	12.1	▲13.5	▲9.5	▲8.9	5.3	▲1.6

注1) 2021年5月までは実績値（都道府県CI）、2021年6～8月は予測CI

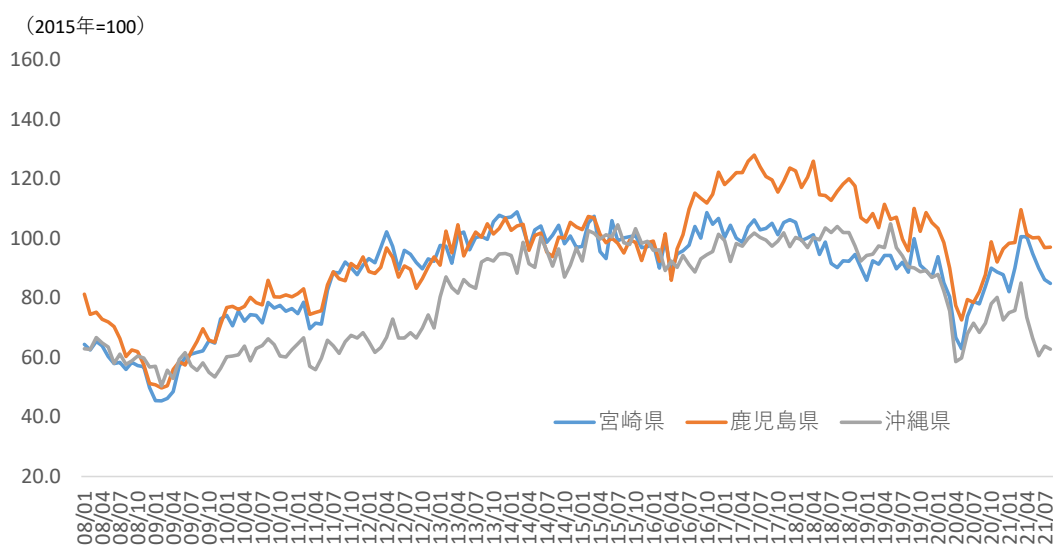
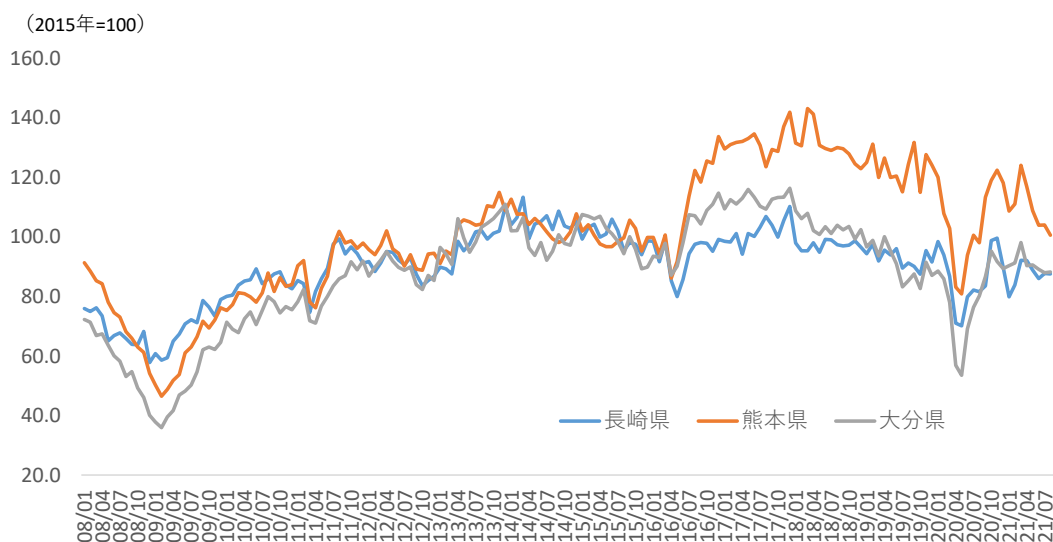
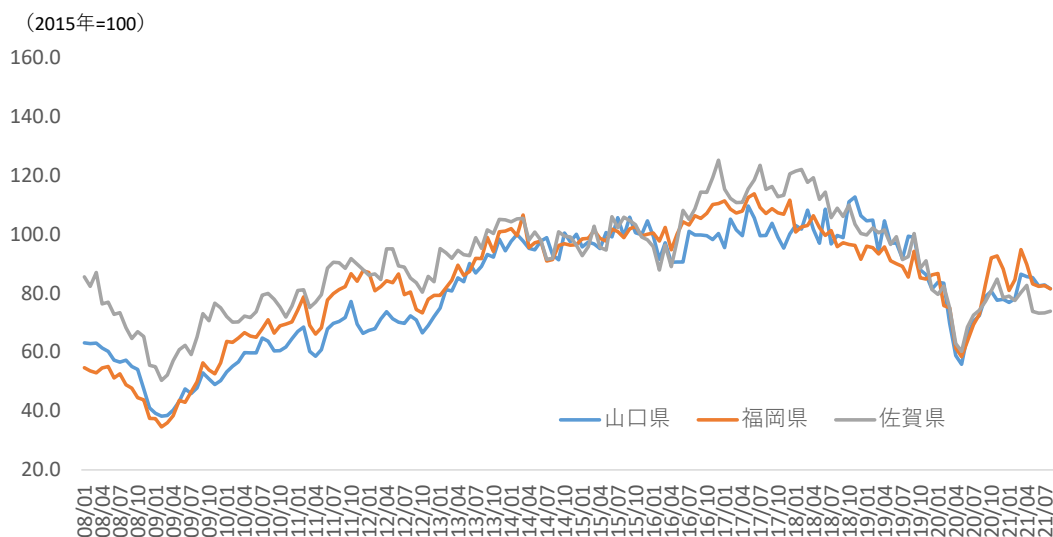
注2) 2021年8月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

松嶋 慶祐（事業開発部 次長）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2021年5月までは実績値(都道府県CI)、2021年6~8月は予測CI

注2) 2021年8月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i 景気動向指数（CI）は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

ii 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ（気温や降水量）など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域（九州、沖縄県、山口県）の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号